

「ごみを減らす」3つの「R」

Reduce (リデュース
ごみを減らす)

Recycle (リサイクル
再生利用)

Reuse (リユース
再利用)

という、Rで始まる3つの行動のことです。

第1のR **Reduce** (リデュース)

ごみになるものを減らす

買い物をする時点で、ごみになった後のことまで考えることが大切です。

例えば、買い物をしたときにもらうレジ袋。買い物袋として使った後、ごみ袋として

利用する人も多いようですが、結局はごみになってしまします。買い物をする時にマイバッグを持参すれば、レジ袋は必要ありません。生鮮食品はトレーやパックに入ったものではなくバラ売りのものを買つとか、洗剤やシャンプーは詰め替え式のものを選ぶことで、ごみを減らすことができます。

エコショップの利用

エコショップとは、簡易包装、食品トレーや牛乳パックの回収、再生品の販売など、ごみの減量化・リサイクルに取り組んでいる環境にやさしいお店です。

..... 市内エコショップ

Aコープスク吉方店	ジャスコ鳥取北店	鳥取大丸
羽毛工房先寝国	鳥取県庁売店	マルイ湖山店
ケアめいと	手づくり工房CaleaSona	丸合鳥取西店
サントピア北園店	COOP(鳥取県生活協同組合)	丸合鳥取東店
サントピア南店	ジャスコ鳥取店	洋服直しのくまさん

エコショップは随時募集しています。



市民一人当たり12,873円

鳥取市のごみ処理にかかる総額は、平成十二年度で十九億一千七百万円です。これは市民一人あたりに換算すると

一万二千八百円余りもかかっていることになりました。ごみが減れば、もちろんこの費用も減ってきます。



リファーレンいなばの処分場も約9年後にはいっぱいになってしまいます。